

NPOとパートナーシップ

—これからの“新しい公共”を考える—

辻元清美氏（前衆議院議員）

石原達也氏（岡山NPOセンター代表理事）

コーディネーター 広石拓司（株式会社エンパブリック代表）

自己紹介

1994年～ 民間シンクタンク（三和総合研究所）勤務

1996年～ 市民生活室 を立ち上げる

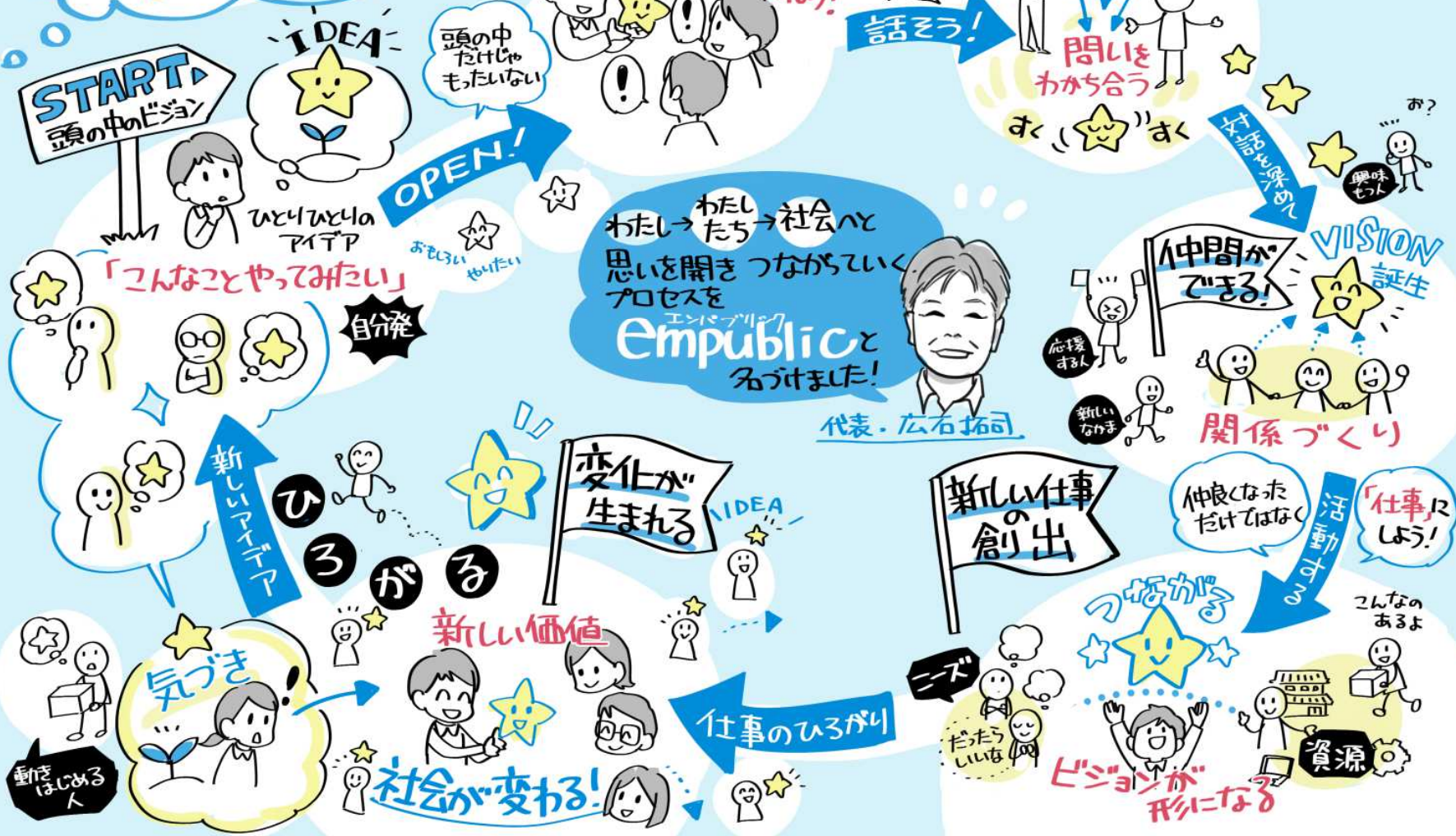
2001年～ NPO法人ETIC.にて社会起業家の支援
その他、NPO法人えがおつなげて 理事 など

2008年～ 株式会社エンパブリック
思いのある誰もが新しい仕事を創りだせる社会へ

慶應義塾大学総合政策学部
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究学科などの
非常勤講師



エンパブリックサイクルとは?



今日のテーマ

- ▶ 2023年はNPO法25周年
- ▶ 2021年12月末 NPO法人 認証 50,860、認定1,228
 - ▶ 認証数は2014年から横ばい、認定数は微増
- ▶ 一般社団、企業の社会事業などへの広がりも
- ▶ 市民の活動に使える法人格、非営利活動を仕事にする人、社会性のある事業は（多様な形で）増えている
- ▶ NPO法制定の過程、初期時にあった「市民セクター」
「日本の新しい時代をつくる」は、今、どうだろう？
- ▶ 分断を超える連帯(Solidarity)、暮らしと政治との絆は？

お二人の視点から

◆ 辻元清美氏

- ▶ NPO法制定に向けての国会での推進役として携われた視点から、
- ▶ 市民と政治のつながりを実践され続けた視点から

◆ 石原達也氏（岡山NPOセンター代表理事）

- ▶ NPOの動きの一つの軸、団塊ジュニア世代として、また、地域での多様な主体とのパートナーシップの推進者として、NPOを俯瞰的に見る立場として

トピックス

- ▶ この20年の社会の変化と市民セクター（NPO等）の変化、変遷
- ▶ Transforming our world 中でのNPOの役割
- ▶ これからの“新しい公共”を考える



参考 英国政府「市民社会战略」

